

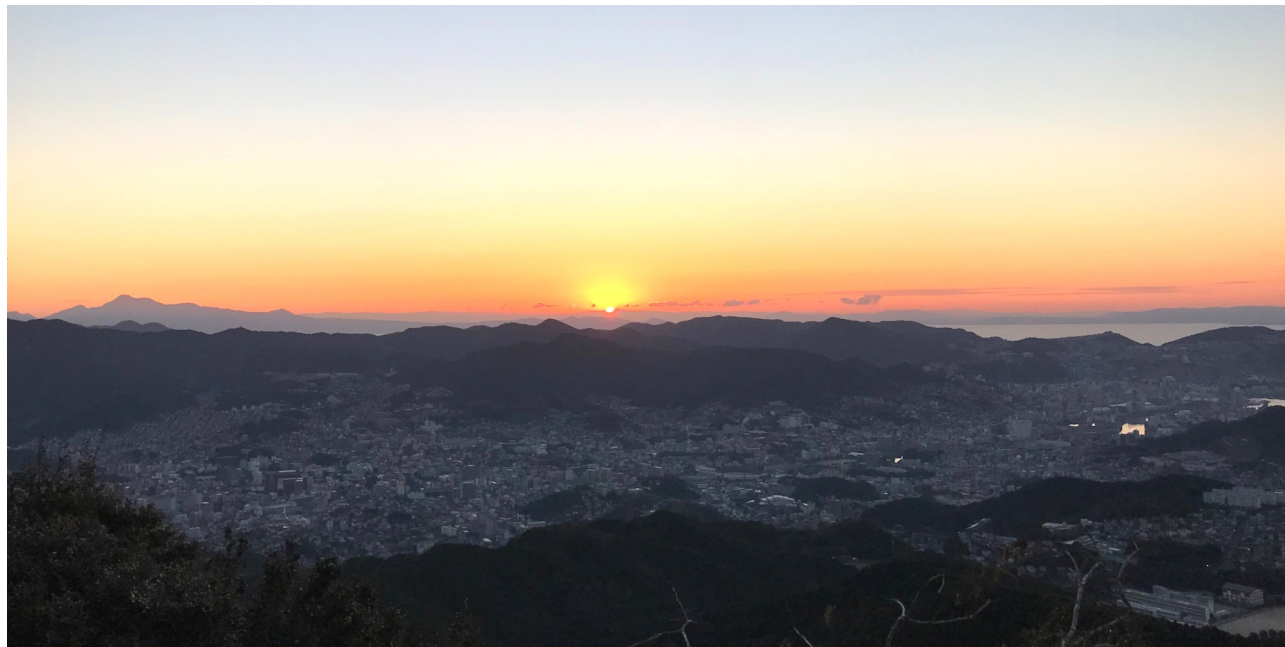
謹賀新年



仲間を迎えるジャンプの年に!



発行
長崎県高等学校教職員組合
〒850-0013 長崎市中川2丁目2番5号
長崎高教組会館
☎ (095)-827-5882
Fax (095)-826-2976
編集責任者 佐藤真一郎
購読料 一部10円
組合員は組合費を含む
メールアドレス
naga-kks@fsinet.or.jp



岩屋山からの初日の出 眼下に長崎市内を見下ろす 今泉執行委員提供

職場を基礎に、要求実現へ!

組合のとりくみを伝え、加入をすすめよう!

一人ひとりの子どもに寄り添いながら、教職員の生活と権利を守るとりくみをすすめるすべての組合員の方に心から敬意を表します。

子どもたちの新しい発見に出会ったときの目の輝きや、ふとした会話の中に滲む悩み。そのひとつひとつに出会うとき、教職員としての誇りと責任を感じます。そして限らない



全日本教職員組合 中央執行委員長 宮下直樹

魅力を感じます。教育の専門職としていきいきと働き続けることができる職場をつくりたいと思います。

物価高騰やマスク越しの制約された生活は、特に困難な背景を持つ子どもたちに深刻な影響を及ぼします。思い

武器より教育に予算を!

「平和を愛する諸国民の公正と信義を信頼して生存と安全を保持する(憲法前文)」一国にするのこの歴史的分岐点に在るのではないのでしょうか。12月16日、「戦争国家づくり」に突き進む「安保3文書」が閣議決定されました。「敵基地攻撃能力」保有など憲法を破壊し平和を破壊するとともに、

「武器より教育に予算を!」

大軍拡をすすめ大増税など暮らしを破壊するものです。「教え子を再び戦場に送るな!」の誓いのもと、「安保3文書撤回!」「軍事費削減、教育予算を増やせ!」の声をあげていくことを呼びかけます。

そして、すべてのとりくみを職場からスタートしたいと思っています。組合活動の原点は職場の要求実現であり、その力は教職員の団結です。その道すじを示しとりくむ全教の役割をすべての教職員に知らせ、組合加入をすすめる1年としたいと思っております。どうぞよろしくお祈りします。

全教総合共済「しか勝たん」?!

記事タイトルに敢えて、SNSで最近使用されている用語を使いました。はじめてこの言葉を聞いたときは、理解するのに一瞬考える間が必要でした。

異なる世代との関わりは、心の通ったコミュニケーションが必要で、私たちが本当に価値のある、いいものを次の世代に残したいな

らば、ちゃんと相手に向き合わなきゃいけない。青年教職員が「自分たちの意見なんて聞いてくれない」と思ったら、意見を言おうとすることすらしなくなってしまう。どうせ聞いてくれないことを言っても、変に目立つくらいなら、言われたことを無難にこなしていくほうが楽

だからです。そもそも「〇〇世代」は線引きがはっきりとしないネーミングにもかかわらず多用され、「分断」を煽る人たちに巧みに利用されています。

若い教職員が自由な発想で自分の意見を言える雰囲気、高教組が作りませんか。心の通ったコミュニケーション

んを取りながら、全国の教職員とともに、「助け合い」という本来に価値あるものを残していく仲間たちを増

ホームページからお申し込みできます!

全国のなかまの助け合い

毎月加入 600円

掛金月々 600円

退職時には掛金総額が給付

結婚・出産などの人生の節目にお祝い給付

全教共済

やしましょう。右のQRコードが加入の煩わしさを軽減しています。どうぞご利用ください。

23春闘討論集会

第224回定期中央委員会議案付議のポイント

12月11日、長崎県立図書館「ミライオン」(大村市)において、春闘討論集会(長崎県春闘共闘会議)がオンライン併用で行われました。8組織から28名(現地20、オンライン8)が参加し、長崎高教組から3人が参加しました。

開会あいさつでは、乾哲夫さん(県春闘共闘議長)が、路上生活を強い



乾哲夫さん(春闘共闘議長)の挨拶 @長崎県立図書館ミライオン

られた女性の例をあげ、最も困難な生活を強いられる労働者の賃金改善を正面に要求で掲げ、組織としてともにたたか

い、格差の是正、均等待遇の実現を訴えました。

講演では、竹下武さん(全労連事務局長)が、「本気で賃上げを勝ち取るために行うべきこと」と題して、日本や世界の社会情勢、政治や産業界



竹下武さん(全労連事務局長)が丁寧に情勢報告を行う

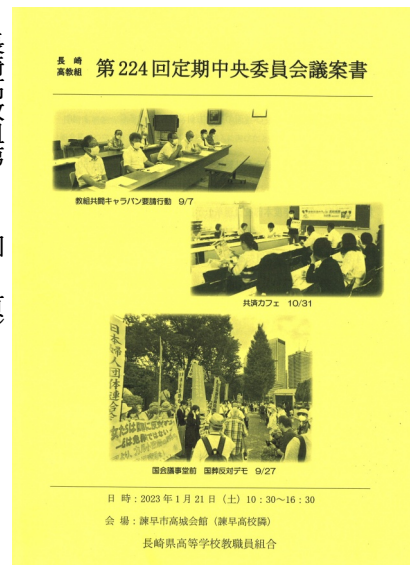
の状況などを幅広く取り上げながら、賃上げのため4つのアプローチとしてまとめられました。

①たたかう労働組合3つのバージョンアップ(ストライキ、産別と地域の統一、組織強化拡大)、②ジェンダー平等と非正規差別を許さないとりくみ、③要求の求心力による組織化、④要求実現が可能な政治への転換、の4つです。

2023春闘のとりくみについて、鳥巢雄樹さん(県春闘共闘事務局長)が新春宣伝行動などとりくみを中心に説明を行いました。

最後に質疑討論が行われ、各単組から、確定交渉の成果や職場の状況、医療関係者からはコロナ禍での過酷な職場環境、協和商工における若者の過労死に関する裁判の報告などが行われました。それぞれの職種の違いで抱えている問題は異なりますが、情報交換と協力することによって、前進できることを感じることができた集会でした。

1月21日(土) 全分会からの参加で 第224回定期中央委員会を成功させよう



長崎高教組第224回定期中央委員会が1月21日(土)に10時30分より諫早市高城会館で開催されます。この新聞と一緒に送付している今回の中央委員会の議案書では6月に開催される第94回定期大会までの運動方針について提案しています。

頁)

今回の中央委員会の中心的な議案である第1号議案(運動方針案)のポイントについて記載しますので、支部の議案書検討会議・分会で参考にしてください。全ての分会から中央委員の参加で活発な討論をして、会議を成功させましょう。

【1号議案】運動方針案
 ①長崎高教組組織建設「新3ヶ年計画」(2020~2023)のとりくみ(議案書1頁から7

昨年6月の定期大会以降の各期の声かけ・対話のとりくみと到達点・課題を記載しています。本部が提起した、組合活動の負担感の軽減、コロナ禍でも組織の団結を目指すとしたとりくみ、集いあい促進費を利用した新加入に向けたとりくみや署名などを通じた見える組合活動など、高教組の現状のとりくみと課題を総括しています。当日の会議では、今後の高教組の在り方組合の「力」の維持・回復、支部・専門部・執行部の後継者育成、現実的な組合員減少に対応する組織の在り方や財政など、次世代へバトンリレーするのにふさわしい高教組について積極的な討論をお願いします。

◎教職員の生活と権利を守るとりくみ(議案書8頁~22頁)

「人事評価制度賃金リンク」「定年引上げ」をめぐるとりくみの総括を記載しています。人事評価制度について、県教委はそれまでの交渉で示してきた考え方を覆す制度を再提案しています。評価の「精度」の問題は棚上げされ、離島特別昇給制度の廃止も絡んだ賃金への反映が示されました。

高教組は、県教委の拙速な姿勢を批判し、経過措置や適性な運用にかかるアンケートの実施などを約束させています。定年引上げ制度について、県教委は国が示す制度を踏襲しており、現行の再任用制度と比べれば、労働条件が向上してはいますが、同一労働同一賃金や教師不足の問題が残されています。

今後、賃金リンク制度が運用されてからの対応、確定交渉のとりくみや高齢教職員・臨時的任用職員の待遇改善について議論を深め、方針を確立します。

◎その他

大会議案

- 【1号議案】 2023春闘及び当面の運動方針決定に関する件
- 【2号議案】 2022年度組合会計暫定予算
- 【3号議案】 役員選挙公示
- 【4号議案】 専従役員損失補償に関する件 ※当日提案
- 【5号議案】 決議(アピール)案

長時間労働是正・業務削減(23頁~24頁)、ハラスメント訴訟(26頁~27頁)、県立高等学校改革・免許更新制の廃止・新しい研修制度(28頁~34頁)、少人数学級実現・教育条件の充実のための署名(37頁~41頁)のとりくみと総括について、議案書に記載しています。これからの高教組運動を見すえた討論で新年のスタートとしましょう